

わ か く さ ニ ュ ー ス

令和4年4月14日発行
令和4年4月号 No. 31

横浜市金沢区泥亀 2-12-1
TEL: 045-784-6900

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会
特別養護老人ホーム わかくさ



皆様ひな祭りの行事は
楽しんで頂けたでしょうか！
また次回の行事も
楽しみに待っててください♪

- 3月行事食
- ちらし寿司
- ハートのコロッケ
- 菜の花のワサビ和え
- すまし汁
- ケーキ



介護保険制度について 第1回 介護保険とは

桜の綺麗な季節となりました。居宅介護支援事業所わかくさ、ケアマネージャーの栗田と申します。この度、介護保険についてというお題を頂戴致しまして、簡素ながら記させていただきます。

介護保険制度は、日本社会が高齢社会を迎えるにあたって、国民全体の課題である介護を、社会全体で担うためにつくられました。この制度が成立する以前の介護は、主として女性が各家庭で担ってきました。介護を国民共通の課題ととらえ、介護保険料を40歳以上の国民が負担（社会保険方式）して、介護とその費用を社会全体で担っています。

制度の理念のひとつに、自立支援があります。自立の定義は様々ですが、介護が必要になった方が、介護保険サービスやその他社会の様々な支援を受けながら、できる限りご自分の今ある能力（歩行能力、お箸を持って食事する能力等）を日常生活で活かしながら、住み慣れたご自宅での生活を維持していくということが主たる目的です。

かつては、措置制度といわれ、行政が福祉サービスを利用できる条件を満たしているかを審査し、その審査結果に応じて介護サービスの利用の可否や利用先が決定されました（行政措置）。介護保険制度の成立に伴い、市民ひとりひとりが、自分の意思と判断で、自分に必要な介護サービスを選択することが可能になりました。

自立支援と自己決定が、キーワードの介護保険制度。地域に暮らす多くのご高齢者の生活を支えています。

居宅介護支援事業所 わかくさ
ケアマネージャー 栗田 元彦



特養わかくさ部署紹介 【介護課 かいどうユニット】

桜の見ごろも過ぎ、あっという間に葉桜の季節ですね。早いもので、こちらに移転してから2度目の春を迎えました。

かいどうでは、ご利用者様と一緒に作った作品や、スタッフが持ってくるお花が飾られ華やかな雰囲気になっています。

先日のひな祭りでは、お抹茶をたて、少し贅沢に和菓子屋さんの可愛いお雛様の練り菓子をいただきました。見た目にも癒され、お味も良く、美味しいと喜んでおられました。またこのようなコロナ禍ではありますが、季節を感じていただきたく、施設前の桜を見に出かけました。スタッフの趣味を生かして楽器を用いて歌を歌ったり、体操をしたり、ご利用者様の笑顔が見られると、スタッフもうれしく思います。



このようにかいどうでは、日々の生活の中に少しでもお楽しみや、喜びを感じていただけるよう考えており、ご利用者様も穏やかに過ごされております。

随 想

寒さが緩み、入学・入社シーズンを迎え、プロ野球が開幕（私は阪神ファンです 今年こそは優勝だ）、正に春がやってきました。私は横浜から京急線で通勤していますが、日ノ出町から南太田まで、電車は大岡川の桜並木に沿って走ります。朝、満開の桜が見えると心が和みます。今年は屋台が再開されました、夜桜見物もいいですね。

桜には一つ思い出があります。私が関わっていた鶴見区の済生会横浜市東部病院を建築する際、鶴見川に沿って新しい道路を造ることになり、そのルートにあった桜の木20本を病院裏手の公園に移植する工事を行いました。木の移植は珍しく、工事の当日はかなりの数のギャラリーが集まったのを思い出します。

移植は木にとって相当のストレスになります。樹齢50年を超える木もあり、花を咲かせることが出来るか心配でしたが、翌年、数は少ないもののちゃんと咲かせてくれ、一安心しました。あれから15年、今年も可憐な花を咲かせていることでしょう。

施設長 清水 雅

